

JA全農杯 2026全国小学生選抜サッカー IN四国

大会要項

- 1 大会名称 JA全農杯 2026全国小学生選抜サッカー IN四国
- 2 主催 日刊スポーツホールディングス
- 3 主管 (一社)四国サッカー協会 (一社)愛媛県サッカー協会 第四種委員会
- 4 後援 公益財団法人 日本サッカー協会
- 5 特別協賛 全国農業協同組合連合会
- 6 協賛 香川県農業協同組合
高知県農業協同組合
- 7 期日 令和8年4月4日(土)・4月5日(日) 開会式 4月4日 11時50分～
- 8 会場 愛媛県総合運動公園 球技場 補助競技場
愛媛県松山市上野町乙46
- 9 参加資格
 - 1) 2026年度に(公財)日本サッカー協会に加盟登録している第4種のチームであること。
(準加盟チームを含む) (公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。
 - 2) 上記団体(チーム)に所属する選手であり、2014年4月2日以降の出生者であること。
 - 3) 各県予選を勝ち抜いた12チーム(各県代表3チーム)。または四国各県の推薦を受けたチームであること。
※JFA登録チームから複数のチームで参加することはできない。
 - 4) 選手は、各県の予選大会で登録していたチームでのみ、本大会への参加を認める。
(県予選時の登録選手で構成し、18名に満たない場合は補充を認める)
※予選大会後にチームを移籍または新規登録された選手は本大会へ参加することは認めない。
 - 5) 原則としてチームの編成は、引率指導者3名、選手18名とする。(選手18名を登録できないチームは参加できない。)引率指導者は、当該チームを掌握指導する責任ある指導者であること。参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
 - 6) 2026年5月3, 4, 5日 日産スタジアムで開催される「JA全農チビリンピック2026 JA全農杯 全国小学生選抜サッカー決勝大会」に参加可能なチームであること。
- 10 競技方法
 - 1) 【予選リーグ】1グループ3チームによるリーグ戦(4グループ)
グループA: 徳島県1位・高知県2位・香川県3位
グループB: 愛媛県1位・香川県2位・高知県3位
グループC: 高知県1位・徳島県2位・愛媛県3位
グループD: 香川県1位・愛媛県2位・徳島県3位
【決勝トーナメント】各グループ1位4チームによるトーナメント戦を行う。
1位グループの1位が四国代表として全国大会に出場する。
同様に2位グループ、3位グループのトーナメント戦を行い、1位～12位までの順位を決定する。

- 2) 1. 試合時間は36分(12分×3ピリオド)
 2. インターバル:第1ピリオドと第2ピリオド間は、選手総入替えに要する時間のみとし、第2ピリオドと第3ピリオド間は5分以内とする。
 3. 第3ピリオドはコイントスにてサイドを決定し、6分が経過したのちサイドをチェンジし他方のチームによるキックオフで試合を再開する。
 4. 勝敗の決しない場合、予選リーグは引き分けとする。決勝トーナメントは、PK方式(3人ずつ)により勝敗を決定する。ただし、決勝戦、三位決定戦のみ6分(3分ハーフ)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式(3人ずつ)により勝敗を決定する。
 5. 予選リーグの順位決定は、勝ち点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝ち点は、勝ち:3点 引き分け:1点 負け:0点 とする。ただし、勝ち点が同じ場合は、得失点差・総得点・当該チーム間の対戦結果・抽選の順により順位を決定する。
- 3) 選手の交代
 1. 第1ピリオド⇒第2ピリオドは、選手を総入替えすること。(第1ピリオドに出場した選手は、第2ピリオドに出場できない。)
 2. 第3ピリオド以降(延長戦含む)は、自由な交代とし全ての選手が出場できる。

11 競技会規定

- 1) 大会実施年度の最新版「8人制サッカー競技規則」((公財)日本サッカー協会)により実施するが、細則については、大会実施委員会決定の要項によるものとする。
- 2) ボールは、少年用4号球を使用する。
- 3) ベンチに入ることができる人数は、13人(交代要員:10人、引率指導者:3人)
- 4) テクニカルエリアを設置する。
- 5) テクニカルエリアからのコーチングは1名のみとする。テクニカルエリア内にいる役員(監督・コーチ・スタッフ等)が判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後、再度何れかの役員が同様の行為をした場合は、主審の判断によりその役員を退席処分とし、それ以降のテクニカルエリアからのコーチングは不可とする。
- 6) 交代の手続き
 1. 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
 2. 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 3. 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行うことができる。
 4. 交代は、主審の承認を得る必要はない。
 5. ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。また、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れても良い。
- 7) 競技者が退場を命じられた場合、該当チームは速やかに交代要員の中から競技者を補充しなければならない。常に8人でプレーすることを基本とする。ただし、

1. 全ての選手は、第1ピリオド又は、第2ピリオドの何れかと、第3ピリオド以降に出場できる。
2. 試合時に16名以下の場合、交代要員がいけないこととなり、第1ピリオド、第2ピリオドで退場、負傷者がでても補充は認めない。
- 8) 退場を命じられた競技者は、次の1試合に出場できない。それ以降の処置は、本大会の規律委員会で協議し、四国規律委員会の決定をもって通知する。
- 9) 警告の累積が2つとなった競技者は、次の1試合に出場できない。
- 10) 警告の累積、出場停止処分は、リーグ戦から決勝トーナメント戦へ持ち越す。
- 11) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために、フィールドに入場を許される引率
指導者の数:2名まで
- 12) 飲水タイムは採用しない。
- 13) アディショナルタイムの表示: 決勝トーナメントのみ実施
- 14) 1人制審判を採用し、補助審判1名を指名する。
審判員は、各県からの派遣により担当する。参加チームに審判の割り当てはない。
- 15) 競技場: 天然芝もしくは、人工芝のグラウンドを使用する。
- 16) 1. ピッチサイズ: 縦68m、横50m
2. ペナルティーエリア: ゴールライン上、ゴールポスト外側に12m、その地点から
ゴールラインに直角に12m
3. ゴールエリア: ゴールライン上、ゴールポスト外側に4m、その地点からゴール
ラインに直角に4m
4. センターサークル: 半径7m
5. ペナルティーマーク: 8m
6. ペナルティーアーク: 7m
7. コーナーキック、フリーキック時の壁との距離: 7m
8. ゴール: ゴールの内のり 縦2.15m、横5m
- 17) グリーンカードの導入
- 18) 試合中のアップはボールの使用を禁止する。ベンチ後方またはベンチサイドの空き
スペースを利用してください。
- 19) マッチコーディネーションミーティング(MCM)
 1. 試合開始予定時刻の30分前に、本部にてMCMを行いますので、メンバー表を持参
してください。(運営・両チーム)
 2. 初日、第1試合のMCMは、監督会議の後に実施します。

12 選手の用具

- 1) (公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- 2) 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- 3) 正・副の2色については明確に異なる色とする。
- 4) 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断した

ときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

- 5) 前項の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - 6) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
 - 7) アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - 8) アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - 9) ユニフォームへの広告表示については事前に申請を要する。
また、レプリカユニフォームは使用できない。
 - 10) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書に登録し、各試合に必ず携行すること(FP・GK用共)。参加申込書に登録されたものを原則とする。
 - 11) シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
 - 12) 選手は、参加申込書に登録した番号を付けること。
 1. GK⇒FP:ゲーム使用と同色のユニフォーム(同一番号)を着用。
 2. FP⇒GK:ゲームに不使用色のユニフォーム(同一番号)を着用。
 - 13) 競技者のビブス着用は認めない。控え選手は、ビブス又は競技者と区別の付く上着を着用しなければならない。
- ※ ユニフォームが準備できないチームは、本大会へ参加できない。

13 表 彰 優勝・準優勝・第3位:賞状・メダル・副賞(全農)、 第4位:賞状・副賞(全農)

14 組み合わせ 別紙参照
二日目の組合せは、抽選により決定する。(各グループで順位の確定したチームは大会本部にて抽選をお願いします。)

15 監督会議 令和8年4月4日(土) 9:00～ 大会本部にて
質問がございましたら、開催1週間前までに大会事務局へ【e-mail】にてお問合せ下さい。

16 参加申込み 1) **【参加チーム】**
所定の参加申込書に必要事項を記入のうえ、3月6日(金)までに大会事務局宛へ【e-mail】で提出してください。
【役員】
宿泊・弁当申込書(役員)、参加チーム報告書に必要事項を記入のうえ、3月6日(金)までに大会事務局へ【e-mail】で提出してください。

2) 参加チームの宿泊・弁当の斡旋は行いませんので、各チームで手配をお願いします。

3) 役員の宿泊等については、各県にて手配をお願い致します。
別紙【役員:宿泊・弁当申込み書】に従い事務局までお申込み下さい。

- 17 その他
- 1) 参加チームは、傷害保険(スポーツ安全保険)に加入すること。なお、(一社)愛媛県サッカー協会は、試合会場での応急処置のみを行います。救急を要する場合は、後方病院に連絡し、不慮の状況に対しては、現場で可能な範囲で処置をいたします。
 - 2) 閉会式は、最終戦終了後に実施する。
 - 3) 登録選手の補充(変更)は、大会初日の監督会議終了までとする。
ただし、変更はやむを得ない理由(登録選手の怪我など)を前提とするものである。
※変更で削除される登録選手については、診断書など証明書類(写し)の提出をお願いします。前日、当日などの緊急を要する案件は、後日申請で構いません。
 - 4) 大会当日に何らかの理由により、選手が18名に満たなくなることはやむを得ないことであり、17名～16名でも参加を認める。ただし、各試合開始時に16名未満となったチームは、その時点をもってオープン参加扱いとし、戦績を抹消、グループの最下位とする。

18 大会事務局

〒790-0962 愛媛県松山市枝松5丁目8-28ビージュイマンション1号館102 一般社団法人 愛媛県サッカー協会 「JA全農杯選抜サッカー」大会事務局 担当:飯尾 始 携帯電話:090-4780-9033 Eメール: kidsiio@ma.pikara.ne.jp
